旭川市 新庁舎建設 NEWS

vol.2
2020.8

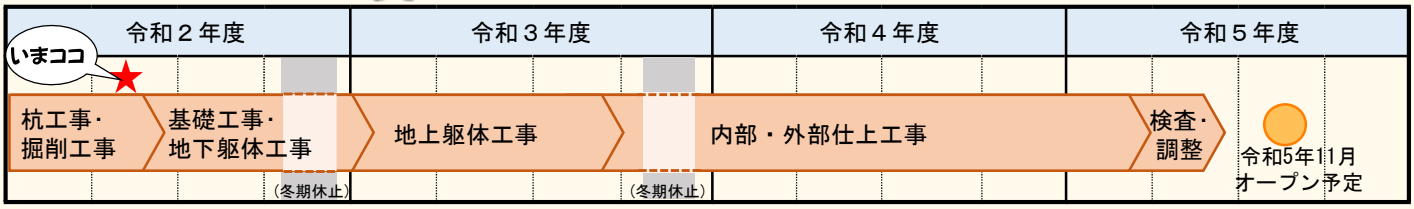
最新情報は，HPをご覧ください

発行・編集　旭川市庁舎建設課
公共建築課
tel:25-7597
choshakensetsu@city.asahikawa.lg.jp

旭川市役所は，令和5年度に新庁舎へと生まれ変わります

市民の皆さんの暮らしを支える新しい庁舎の建設工事に関する情報を「新庁舎建設NEWS」として皆さんにお伝えしていきます。

工事の進捗



令和２年６月３日(水)

令和２年６月２３日(火)

令和２年７月２７日(月)

前号では，工事範囲に安全フェンスを設置したことや，杭の打ち込み工事が行われていることをお伝えしました。

その後は，主に基礎を造るための掘削工事を行いました。掘削では建物の面積に合わせて地面全体を掘っていますので，建物の大きさが想像できるようになってきました。

本号では掘削工事を中心とした進捗をお伝えします。

工事現場日記

令和２年６月１９日(金)

杭工事も終わり，基礎を作るために，地面を3mの深さまで掘削しています。

掘削した周囲には，地盤の崩落を防ぐ土留めをします。地盤に打ち込んだH鋼に木板をはめていきます。

令和２年７月３日(金)

掘削した地面で作業するために，重機やダンプが上り下りできるスロープを設置しました。

土留めに「木板」と「シートパイル」を使い分けているのはどうして？？

木板とシートパイルの土留めには，次のような特徴があります。

	木板	シートパイル
止水性	低い	高い
軟弱地盤	不可	可
費用	安い	高い

新庁舎建設の敷地では地下約4mに地下水がある事を事前に確認していました。
地下階の施工では掘削の深さが4mを超えるため，地下水による工事への影響を軽減できるシートパイルを採用しています。また，1階の基礎部分は掘削の深さが3mで，地下水の影響が想定されないので，木板の土留めを採用しています。

令和２年７月１０日(金)

地下階を造る部分は更に深く掘削するので，掘削前にシートパイルという鉄板で土留めをします。
鉄板が互いにかみ合い，波形に連続しながら地下階となる部分を囲います。
シートパイルの施工には，サイレントパイラー工法という騒音や振動の少ない工法を採用しています。